

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)	◎	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は相変わらず減少気味だが、1人当たりの販売量の動きが良い。新型コロナウイルスの影響もあり、消毒や検査キットの類がよく動いており、そこがプラスに働いている。
	◎	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・1月末から2月中旬頃までは新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、前年と比べても厳しい状況が続いていた。しかし、新規感染者数が横ばいになってきたことや、前年、前々年は中止になった高校の卒業式、大学の入学式などが今年は開催予定であることから、その分来客数が伸びている状況である。
	◎	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・当店で自動車の販売数は3か月前の1.5倍ほどになっており、景気は上向いている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は微減が続いているが、単価がカバーし、結果、販売増加につながっている。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・年末の追い込みにより受注は増加したが、売上は納期の遅れがありここ数年と大差ない。しかし、これからの需要期に向け徐々に商談は増えてきている。
	○	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・新車の販売台数が前年水準まで戻り、当月の新車関連の収益が大きく改善している。客への納車も進んでいるため、保管している新車台数は大幅に増えてきた。
	○	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・コロナ禍ではあるが今月は比較的来客数が多く、低額品ではあるが販売数が伸び、やや景気を押し上げている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・当地は雪の日が多く出歩くことが大変だったが、前年よりは売上が良くなっている。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・当地でも新型コロナウイルス感染が拡大しており、なかなか客先回りができずにいる。相変わらず厳しい。
	□	スーパー（経営者）	単価の動き	・2月は取引先各社の商品の製造原価が上がっているなか、仕入価格上昇分の価格転嫁を進めているが、小売の1品平均購買価格は前年並みで推移しており、客の購入品が低価格品に移行していることが見て取れる。また、買上点数の前年比も前月から変わりはなく、買い控えはさほどみられない。価格には敏感になっているが、消費の傾向は変わっていない。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・当店の飲食店部門は売上前期比で78%と落としているが、店全体としては107%の推移である。来客数は105%と少し下がっている。内容としては客単価で103.5%、買上点数101.7%、1品単価101.7%と内容は悪くない。
	□	スーパー（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大によって来客数が前年を下回り、販売点数の伸長で売上をカバーしていたが、点数の伸びが鈍化し客単価が厳しくなっている。結果、売上も前年を下回る状況である。
	□	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加により、まとめ買い傾向が高まっているが、来客数が増えないことから売上は伸びていない。大雪の影響で出歩けないため内食率は高まっているが、節約志向は強くなっている。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・コロナ禍が始まって2年になるが、新型コロナウイルスの影響で少しずつ下がってきた売上が下げ止まりになり、今のところ上向き気配はない。県の非常事態宣言やまん延防止等重点措置があり、土日祝日や週末に客が動かないため、かなり厳しくなっている。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大のため人の動きが止まっており、景気は余り変わっていない。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・外的環境も変わっていないため、秋冬にかけての来客数に変化はない。	

□	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が年齢に関係なく多発している現状で、学級閉鎖や学年閉鎖等が続いている。そのため、親も大変な状況で外出を控えており、店舗も閑散としている。酒は宴会等が全くなく売上がゼロに近い。
□	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・当県でも新型コロナウイルスのクラスター発生により新規感染者数が増加している。外出自粛により来客数に影響が出ている。
□	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・決算時期が近づいているが、なかなか個人の消費が伸びない。
□	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・初売りにより受注は一時的に好調であったが、製造が思うようには稼働しておらず、相変わらず配車遅れがある。登録に結び付かず、売上が思うようには伸びていない。
□	その他専門店 [白衣・ユニ フォーム] (営 業担当)	販売量の動き	・飲食店・観光業の客からの注文は相変わらずない。特に飲食店は廃業の知らせが多く聞こえるようになった。このまま衰退していくことを心配している。観光業もまだまだ厳しい状況に変わりなく、制服まで金が回らないのが現実である。良くなることを期待して待っている状況である。
□	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ガソリン価格の高騰など、景気が上向く要因が少なすぎる。
□	旅行代理店 (従 業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株によるまん延防止等重点措置の延長により、個人は新規申込みが止まった状態が継続し、団体は小グループも含めて案件なしの状態が継続しており、販売額では前月と同程度にとどまっている。
□	旅行代理店 (従 業員)	来客数の動き	・旅行業につき感染者数動向と需要動向が関連する。1月から減少傾向にあるもののまだ横ばいであり、改善しているとは言い難い。ただし、過去のまん延防止等重点措置の適用期間と比較すると、手堅い人流があるため多少良い状況ではある。
□	通信会社 (営業 担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスによるダメージの影響は、第5波に比べ第6波では小さくなってきており、景気の変動は感じられない。
□	通信会社 (営業 担当)	お客様の様子	・客の購買意欲に変化はみられない。
□	通信会社 (営業 担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の適用地域の影響を受け、個人消費は冷え切ったままである。個人向けの通信メニューは、テレワークなども落ち着いたため新規加入の動きはほとんどない。在宅利用者が多かった放送サービスも、加入者は微増で解約者が増え始めている。
□	観光名所 (職 員)	来客数の動き	・感染状況の変化により、団体のキャンセルが増えている。2～3人の個人客については予約が微増しているものの、団体分の落ち込み分をカバーするには至っていない。県内の感染状況が悪く、外からの振り客がほとんどない状況である。
□	住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でとにかく人が外に出てこないため、イベント開催しても集客できない。
□	その他住宅 [リ フォーム] (従 業員)	販売量の動き	・リフォームについては屋外工事は減ったが屋内の増改築工事が増えている。住宅設備機器についてはコンロ、レンジフード交換工事が増えている。
▲	商店街 (代表 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数増加による学校休校や高齢者の外出自粛等の影響により、景気はやや悪化している。
▲	一般小売店 [医 薬品] (経営 者)	来客数の動き	・寒さや新型コロナウイルスの感染拡大により外出を控える人が多く、来客数が減ってきている。一方、来店客についてはまとめ買いが多く、客単価は上がってきているため、売上額トータルで見れば横ばいである。各種の品物が幅広く購入されているわけではなく、一定の品物に対する特需的な売上である。
▲	百貨店 (売場主 任)	来客数の動き	・商圏内で新型コロナウイルスの新規感染者数が過去にない水準で広がっており、高齢者層を中心に外出を控える人が増えている。

▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で来客数が減少している。県境をまたぐ移動や購買動向にも影響している。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の推移はまだ落ち着かないものの、前年のような客単価にまでは至らない状態である。買いためや家庭内食需要が前期ほどではない買物動向である。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・2月初旬の時点では、1月で底打ちしやや上向きに転じたかに思われたが、中旬からの新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大につれて客足が減少している。それにより売上もダウンし、停滞状態が続いている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数増加により、来客数が減少している。特に夕夜間の来客数が激減している。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の推移は前年と同様である。年末年始で来客数も戻ってきていたが、1～2月にかけては前年と同様の外出自粛で動きが悪い状況になっている。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・夜間来客数の減少傾向は続いている。
▲	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・ロシアとウクライナの問題は先行きが見えず、景気に影響している。
▲	コンビニ（店長）	単価の動き	・当店の周辺では来客数の変化がみられない。しかし、コンビニ全体としては、来客数が減少し単価が下がってきているようである。家計が悪化しているためとみている。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・県内の新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、来客数、購買数共にダウンしている。日々の売上がかなり厳しい状況である。
▲	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の適用もあり、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大前の水準まで新規感染者数が落ち着いてこない限り、よほどの理由、目的がなければ衣料品の購入をしようという気になれない。
▲	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置による営業時間の短縮もあり、来客数が8掛けの状況で、それに伴い売上も減少している。
▲	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響も大きいとみられるが、家族連れで来店する客が極端に少なくなっている。
▲	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・除排雪業者と観光宿泊飲食業との落差が激しい。
▲	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注量の減少により、納品生産量が減少している。
▲	その他専門店 [食品]（経営者）	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルスも徐々に落ち着くだろうとの希望があったが、今は最悪状態である。まん延防止等重点措置が解除になるも客足は戻らない。飲食宿泊業ばかり手厚い補償があり、小売店はなおざりである。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用により外出自粛の影響が出ている上に、原油価格の高騰によって買い控えが増加している。一台当たりの給油量が減ってきている。
▲	その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響はいまだ衰えず、全体的に来客数と客単価が伸び悩んでいる。
▲	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・予約数も減り、キャンセルも相次いでおり状況は悪い。宿泊、出張がほとんどない。
▲	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新規感染者数が多い。また、濃厚接触者になったの自宅待機者数も今までの比ではないため、手控えが感じられる。
▲	タクシー運転手	競争相手の様子	・個人タクシーのドライバーや他社ドライバーと話をして、新型コロナウイルスの影響は一時期落ち着いたかと思われたが、現在、やはり全く良くなっていないということである。

▲	タクシー運転手	来客数の動き	・1日の乗車回数を11月と比較すると5%程度減少している。3回目のワクチン接種を終えても、新型コロナウイルスオミクロン株の感染から逃れるために外出控えが激しいのが現実である。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・景気は下降気味である。新型コロナウイルスの感染拡大にウクライナ情勢が加わり、燃料の価格高騰、物価の上昇、賃上げなしなど先行きに不透明感がある。元気になる要因が見当たらない。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ガソリン価格高騰、新型コロナウイルス感染症が収まらず動きが鈍い。
▲	遊園地（経営者）	それ以外	・現在冬季休園中であるが、団体の予約はそれなりに入っている。しかし新型コロナウイルスの感染状況で中止となることも十分考えられる。
▲	競艇場（職員）	来客数の動き	・大雪が続いたことが大きく影響している。
▲	美容室（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、できるだけ早く店から出たいという理由でパーマ、カラーが減っている。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行による行動制限が顕著である。特に飲食店では来客数が激減し、売上が10分の1になっている店もある。地方でも身近なところでクラスターが発生しており、感染者や濃厚接触者のため出勤できない社員も目立つ。
▲	設計事務所（経営者）	それ以外	・資材の高騰や品薄による発注時期の見直し、工期の遅延等が発生しており、新規案件に取り組めない状況があるため効率が良くない。
▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響から来場組数は減少傾向にあるが、大きくは下がっていない状況が続いている。
×	商店街（代表者）	それ以外	・新型コロナウイルスに加え、ロシアのウクライナ侵攻が心理的に響いていて、消費が止まりかなりひどい状態になっている。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス、値上げ、戦争と生活の不安感が拭えない。
×	一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・児童書や自己啓発本といった好調なジャンルもあるが、全体的に低調で推移している。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前の3分の1になっている。2月は新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、サラリーマンは会社から繁華街への出歩きを禁止されているということが大勢の客が言っている。
×	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用により、夜の飲食店のほぼ全てが休業している。辛うじて営業を存続させた客先に関しても、酒類の提供が大きく制限されたことにより販売量がほぼゼロに近い。
×	百貨店（買付担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数が日を追うごとに増加し、比例するように来客数が減少したほか、購買意欲も明らかに低下している。以前の買い控えの状況と似てきている。
×	百貨店（経営者）	来客数の動き	・高額商品の好調な推移、近場消費傾向、夕方からの来客数大幅減少など、コロナ禍での特徴的な消費動向が顕著に出ている。ただし、来客数の減少幅は第5波のときほどではない。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・ガソリン価格、灯油価格が高止まりをしており、食品の値上がりも止まることを知らず、消費者は生活防衛型消費にならざるを得ない状況が続いている。
×	コンビニ（経営者）	それ以外	・例年以上の除雪代に加えて、新型コロナウイルスオミクロン株と大雪の影響による来客数の減少、売上の低下、人手不足等、悪い要素がそろっており、本当に地獄である。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候も悪く雪も多かった上に、新型コロナウイルスオミクロン株の感染も広まり、来客数がひどく落ち込んでいる。2月はいつも忙しくはないが、ここまで静かなのは初めてである。

	×	家電量販店（店長）	販売量の動き	・子育て世帯への臨時特別給付の効果もなくなり、新型コロナウイルスの感染も高止まりの状況にあり、ガソリン価格なども高くなっていることから、客の消費行動がやや慎重になってきている。買換えの家電製品も単価の高いものからやや現実的な価格に抑えられてきている状況である。
	×	その他専門店 [酒]（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用で完全に動きが止まっている。地元でも量販店・スーパーの動きがかなりなくなっており、お手上げの状態である。
	×	その他専門店 [靴]（従業員）	販売量の動き	・学校でクラスターが発生しており、来客数が大きく減少している。
	×	高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの感染が全く収束しないので、業界が危機にひんしている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・これまで何度も感染が拡大し客が来なくなるという状況があったなか、今月は北京オリンピックのせいもあったかもしれないが、来客数がこれまでで最も少なくなっている。まん延防止等重点措置が適用になっていないにもかかわらずここまで客が来ていないということで、本当に手の打ちようがない状況である。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がまた増えてきた。まん延防止等重点措置の適用地域ではないが、毎日600～700人の新規感染者が出ているため、夜の飲食街には客が訪れない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・県から感染リスクの高い場所への外出自粛や、県独自で実施している食事券の使用延期を要請されているためか、客がほとんど来ない状況になっている。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・エリア内でも月初めからまん延防止等重点措置が適用になり、適用前まで来店があった常連の足も止まっている。月末には解除になったが感染防止の意識をキープしたままであり、不要不急の外出や夜は特に外出しないようである。
	×	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が依然減少しないので、先々の予約が鈍い。修学旅行のキャンセルも多くなっている。
	×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・当県で初めてまん延防止等重点措置が適用され、該当地域になった。必然的に客は少なくなり、週末のみの営業にしてもピーク時の3分の1になっている。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で県民割もストップしてしまったため、旅行の申込みは止まり、キャンセルが続いている状況である。
	×	美容室（経営者）	販売量の動き	・前年2月も新型コロナウイルスによるダメージがあったが、更にそれを上回る売上減少になっている。売上は悪かった前年の80～90%になっている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・寒いため来客数が減っている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	*	*	*
	○	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・年度末の仕事やワクチン絡みの仕事が入ってきている。
	○	金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・複数の客から増産の要望が出ているが、人員の手配が非常に難しく、要望に対して100%応えられない状況にある。
	□	農林水産業（従 業者）	受注価格や販売 価格の動き	・前年の果物農家の販売単価は前々年より2割程度高かったが、春先の強い遅霜で収穫量は1～2割程度減少したので、全体的な収入は例年並みであった。
	□	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響でまん延防止等重点措置が出ているところが多いので人の動きが良くなく、連動する形で売上も良くない。
	□	食料品製造業 （営業担当）	受注量や販売量 の動き	・販売量が前年比95%となっており、前年割れが続いている。前年販売量をクリアできない状況は3か月前から変わりない。

□	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・販売量の減少が下げ止まらず、ただでさえ利益が薄く なってきたところに、原材料の値上げ、エネルギーコ スト上昇が追い打ちを掛けている。労働分配、賃金上昇は 程遠く、経済実体の回復が実感できていない。
□	電気機械器具製 造業（企画担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・半導体関連の供給不足が依然続いており、開発・製造は 当初予定どおり進捗しているため、大きな変化はない。
□	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	取引先の様子	・工場の休業、設備稼働の停止がまだまだ続いており、受 注、売上が戻りきっていない。
□	建設業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・見積案件はあるが成約案件はまだ少ない。また、寒波と 大雪の影響で工事の進捗状況は悪い。
□	建設業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・民間案件などによる一定の受注は確保できている。
□	輸送業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・会社全体の売上は前年を上回っているが、取引先の回復 スピードは業種により2極化傾向が現れてきている。特に 当社主要の製造業取引先にまだ回復基調がみられない状況 のためか、全体として景気の良さは感じられない。
□	通信業（営業担 当）	取引先の様子	・客の反応は冷え込んだままだが、業種によっては少しずつ 明るい兆しがみえ始めてきた。
□	経営コンサルタ ント	それ以外	・ウィズコロナの生活様式が、消費抑制の定着化に向かっ ている印象を受ける。
□	その他企業〔企 画業〕（経営 者）	それ以外	・当地の温泉街宿泊施設の宿泊客の少なさに変わりはない。 冬期間の湯治客も若干ではあるが減少気味である。さら に、定期の来館者の姿も少なくなってきた。
▲	窯業・土石製品 製造業（役員）	受注量や販売量 の動き	・需要減少に加え、原材料の値上げや燃料の価格高騰によ り経営状況が悪化している。
▲	電気機械器具製 造業（営業担 当）	取引先の様子	・既契約案件において工事進捗に伴う仕様変更に関し、追 加費用分の価格交渉を実施している。しかし、取引先にお ける経営数値が、ここ数か月で悪化傾向にあり、過去より も厳しい価格評価の提示を受けている。
▲	金融業（広報担 当）	取引先の様子	・年末以降、新型コロナウイルス第6波の影響が観光宿泊 業を主体に顕在化している。飲食業は酒類提供時間帯の営 業が打撃を受けている。また、燃油コストの長い高止まり は運輸・製造業にとっての重しとなっている。
▲	広告業協会（役 員）	受注量や販売量 の動き	・感染拡大が収まらない状況で、販促活動を取りやめる企 業も増えており、広告の受注量全体は明らかに減っている。
▲	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。新型コロナウイ ルスの感染拡大により消費者が活動を自粛しているため、 小売やサービス業、飲食業の売上が再度低下してきてい る。これにより業績も悪化しており、景気はやや悪化傾向 にある。建設業などは一定程度の業績を確保しており影響 はない。
▲	コピーサービス 業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・前月同様、メイン商材の入荷が遅れており、受注はある 程度たまっていくが計上できない状態が続いている。
▲	その他非製造業 〔飲食料品卸売 業〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・前年と比べ、物量で約5%、販売量で約4%落ちている。 競争が非常に激しいということもあるが、テリトリー のなかで少子高齢化が進んでいることもあって景気の状態 が余り良くない。
×	農林水産業（従 業者）	それ以外	・昨今の米価下落により、今春以降の稲作を断念する農家 が数多く出てきている。
×	食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量 の動き	・年間でも売上が下がる時期ではあるものの、前年同時期 よりも思わしくなく、上向き兆候も見当たらない。
×	その他非製造業 〔飲食料品卸売 業〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・全国的にまん延防止等重点措置による飲食店の時短要請 が出ており、県外向けの出荷が停滞している。
雇用	◎	—	—

関連 (東北)	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株で一時減退した求人意欲が2月末から若干持ち直してきている。IT関連の技術者は相変わらず人が不足している。また、小売、外食は学生が卒業するシーズンなのでそこに向けての補充があると考えると、例年どおり求人意欲は旺盛である。そういったことから上向き基調にあると推察している。
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数は新型コロナウイルス発生前の水準を大きく上回る状況である。求人数増加に伴い、採用市況は活況になっている。
	○	職業安定所(職員)	求人数の動き	・3か月前と比較して新規求人数は約300人、有効求人数が約1900人増加している。
	○	民間職業紹介機関(職員)	周辺企業の様子	・人材を求めている企業からの問合せが増えている。
	□	新聞社[求人広告] (担当者)	求人数の動き	・求人広告件数に顕著な変動は見受けられないが、その他広告は縮小傾向にある。
	□	新聞社[求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が急拡大しており、年度末に予定されていたイベントが軒並み中止・延期になっている。他の広告活動もかなり鈍い状況である。
	□	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・大型商業施設の進出や洋上発電工事など雇用の場が拡大している。
	□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・ここ3か月は前年同月比の新規求人数の増加幅に大きな変化はみられない。
	□	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・飲食・宿泊業と、それらに関連している食品製造業の倒産、廃業による求職者数が増えてきている。また、後継者がいない企業においては、長引く新型コロナウイルスの影響や燃料・原材料の価格高騰により、体力があるうちに廃業を決意するケースが出てきている。
	▲	アウトソーシング企業(社員)	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で会議自体が中止になったりしているため、仕事が減っている。
	▲	新聞社[求人広告] (経営者)	周辺企業の様子	・景気の良い話がどこからも出てこない。
	▲	学校[専門学校]	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が、首都圏から遅れて拡大の一途をたどっている。
×	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・首都圏に比べオーダー数の回復がなく、この状況が2021年度より継続している状況である。	